

半切四分の一に書くⅡ（1）

締切り 一月二十四日（必着）



神谷葵水先生書

◎本誌に条幅（半切）の課題が正式に設置されたのは、平成十一年七月のことで、その前の約八年間は、半切への足がかりとして半切四分の一のサイズ（約六八cm×十七、五cm）で条幅の基礎を学んでまいりました。

◎このコーナーでは、元愛知教育大学名誉教授・神谷葵水先生の当時のお手本をもとに、改めて条幅の基礎を学びます。平成二十六年にも一年間学びましたので、今回はパートⅡになります。

◎条幅は苦手という方、大きい作品に気後れしている方は、この機会にぜひ、条幅の草稿作りのつもりで気軽に取り組んでみましょう。

〔読み〕 花含宿雨開  
はなはしゅうくうをふくんでひらく

〔解説〕

・用紙に五文字をバランスよく収めることが大切です。行の中心、字間、天地のあき等に注意しましょう。紙を折る、下敷の野を利用する等の方法もあります。

・お手本をよくみると、各字に大小の違いがあることがわかります。潤濁も考えてみましょう。その方が動きやリズムが出て表現が豊かになります。

・できる方は、書体や崩し方を変換してオリジナルな作品に挑戦して下さい。その際、字典でしっかり調べることが肝要です。

・落款（署名・印）も作品の一部です。丁寧に収めましょう。印のない方は□を赤ペンで書いて下さい。

〔作品の出し方〕

▼毛筆部Ⅱ条幅半切四分の一（約六八cm×十七、五cm）に書いて下さい。

▼硬筆部ⅡB5版（二五七mm×一八二mm）以下の紙に課題手本のような枠線を引いて下さい。用具は自由ですが、細い線は相応しくありません。（フェルトペン・筆ペン可）

▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・毛筆漢字の成績（硬筆の場合は硬筆規定の成績）を、作品余白にお書き下さい。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕

①②③④⑤⑥⑦ 験

思

索

理

①②③④⑤ 武

①② 装

▶教範・書範は右課題を「楷書」で、師範は「行草または草書」で出書して下さい。  
 ◎大ベテランの岡田龍芳先生に代わってえ私が執筆担当させていただきましたことになりました。これまでの不勉強を恥じております。気を引き締めて精進して参ります。

自信が生まれ、理論武装すること、体験を深く思索し、奥村暢之書

奥村暢之書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕

本

当

解

欲

時

言

葉

人	解	本
は	つ	当
言	て	に
葉	欲	
を	し	
尽	い	
く	時	
す		

大谷清城書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

◆2月課題予告(行草または草書)  
 人を責むるの心を  
 もって己を責むれば  
 即ち過ち寡なし  
 ▼教範・書範||行書  
 ▼師範||楷書

★体験:(書体||行書)  
 カーネギー(二八五、九五)  
 アメリカの実業家  
 読書や人の話によって身につけた知識は、人々を説得するほどの力を持ちません。自らが体験して身につけた事柄に関しては、その人独特の迫力ある表現力を生み、真似事ではない自分自身の言葉で語られる内容となり、人々の心を動かすことでしょう。

◆2月課題予告(行書)  
 万物は  
 皆機より出でて  
 皆機に入る

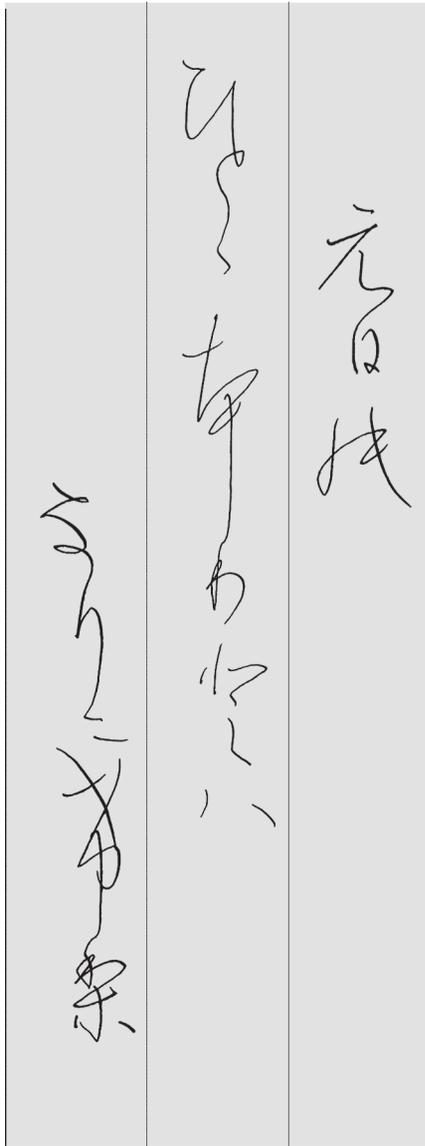
★本当に:(書体||楷書)  
 さだまさし(一九五二)  
 シンガーソングライター  
 言葉というものは価値観が違ふと伝わらないと、作者は言っています。  
 異なった価値観を持つ人々にとってお互いの心を理解し合うことは困難ですが、それでも本当に伝えたいと願う時、人は言葉をつくり、価値観をこえなければならぬとも言っています。

# 一般部かな課題

締切り 1月24日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで



元日能ひと、本利登八奈二希梨の人通りとはなりにけり

元日乃利尔介里の人通りとはなりにけり

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

	人	
	通	元
	り	日
な	と	乃
わ	と	
よ		
り		
日		

田中貴光書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

田中貴光書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

元日ぐわんじつの人通りとほとはなりにけり

(正岡子規まさおかしき)

〔句解〕一夜明けると年の始め、大晦日おほみその忙かせわしさがどこへやら、神詣かみもちや年始回りの姿が見え、すがすがしくなごんだ人通りとなったことよ。

〔鑑賞〕めでたさを気分として詠むのではなく、人通りに着眼し、すっきりとまとめた点、単純な「もの」に託して思いを述べる子規の写生俳句の特色をよく表した句である。

〔古筆参考〕

能の 能 能 能 能  
 登と 登 登 登 登  
 盤は 盤 盤 盤 盤  
 利り 利 利 利 利  
 希け 希 希 希 希

〔解説〕「元」の「一」の最後の縦画と「と」の最初の画を、兼用して使う。連綿の技法の一つ。

◆2月課題予告

むまさうな雪がふうはりふうりかな

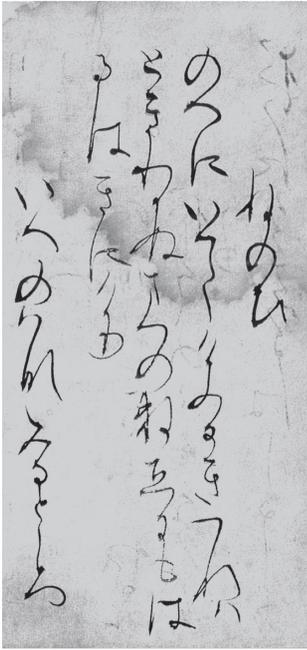
(小林一茶こばやしちや)

締切り 一月二十四日(必着)

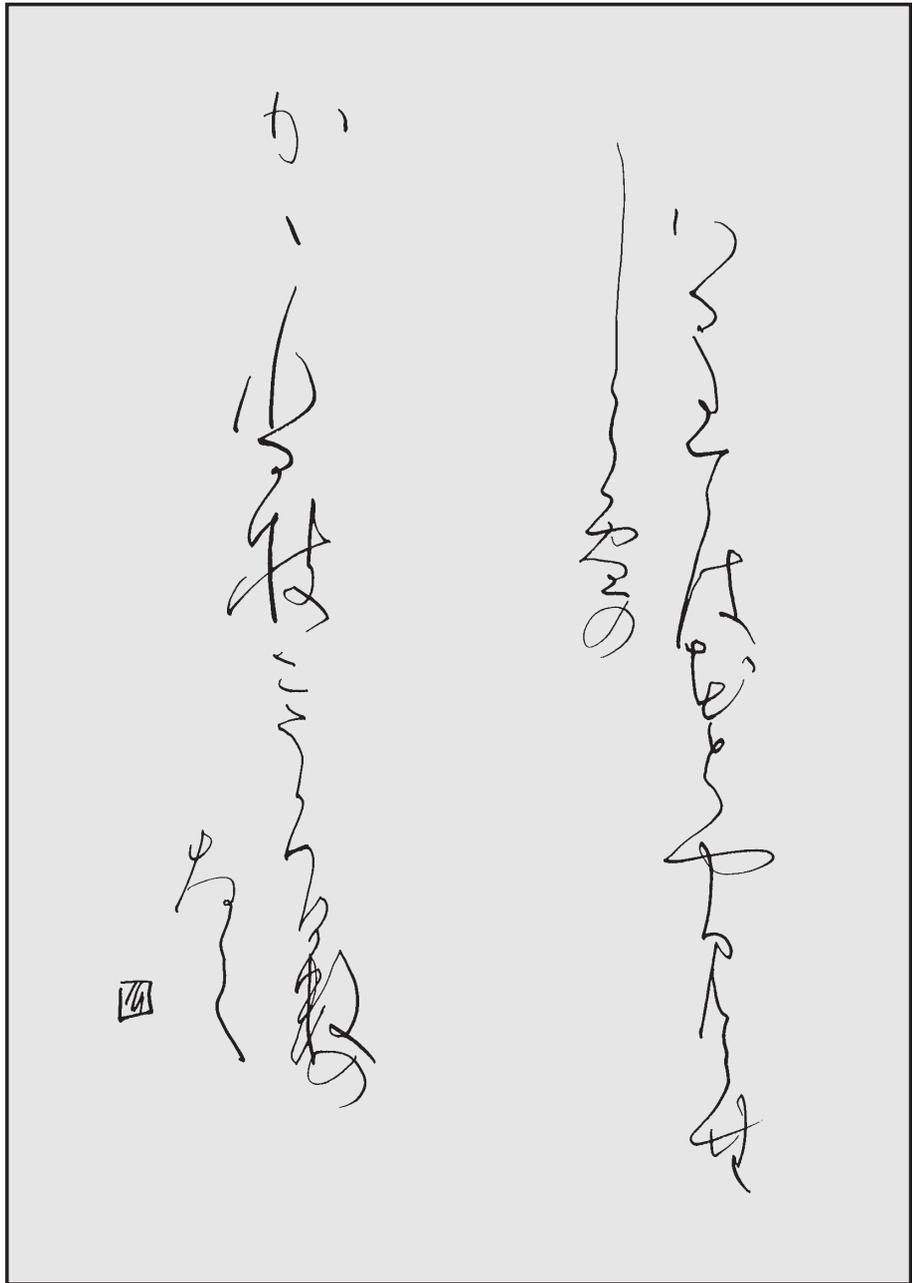
築瀬舟香書

〔古筆参考〕

なかつかさしゅう  
中務集



ねのひ  
のべにいでけふひきつれば  
ときわかぬまつす糸にもは  
るはきにけり  
いへのはなみるところ



「はじめに」

明けましてお目出度う御座居ます。  
どうした事かまた今年も皆様とご一緒  
に勉強する事となりました。

今年は今昔の歌を西行の「中務集」を参考  
に作品構成をしてみました。

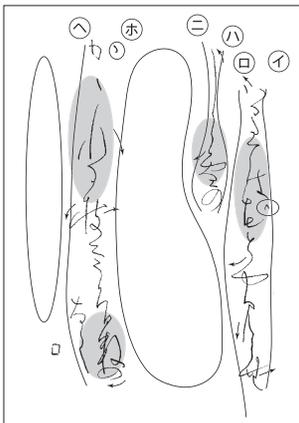
春たてば花とや見らむ白雪の  
かかれるえだに鶯のなく

〔歌意〕春になったので、白雪が花と  
思えるのだろうか、雪の降りかかった  
枝で、鶯が鳴いている。

〔出典〕古今和歌集

(新潮日本古典集成)

〔解説〕



①と②、①と③、①と④、①と⑤、  
①と⑥、①と⑦、①と⑧、それぞれ  
呼应。

○余白大切。

●密の部分大切。●の動きで面  
が構成される。

●の方向(指向性)で面がまとま  
る。

◆2月課題予告

ひさかたの光のどけき春の日に  
しづ心なく花の散るらむ

締切り 1月24日(必着)

福寿草の黄色い花が、ひと足早く  
春の訪れを告げる頃となりました。  
この度は喜寿を迎えられたとの事  
ご夫婦揃っていつも仲良く健康で  
大変嬉しく存じます。寒さ厳しい  
折柄、何卒ご自愛のほどを。

- 作品の出し方
- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
  - 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
  - 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
  - 両課題とも、書体変換は自由です。

※手本は水性ボールペン使用

福寿草の黄色い花が、ひと足早く  
春の訪れを告げる頃となりました。  
この度は喜寿を迎えられたとの事  
ご夫婦揃っていつも仲良く健康で  
大変嬉しく存じます。寒さ厳しい  
折柄、何卒ご自愛のほどを。

横 書 き 課 題

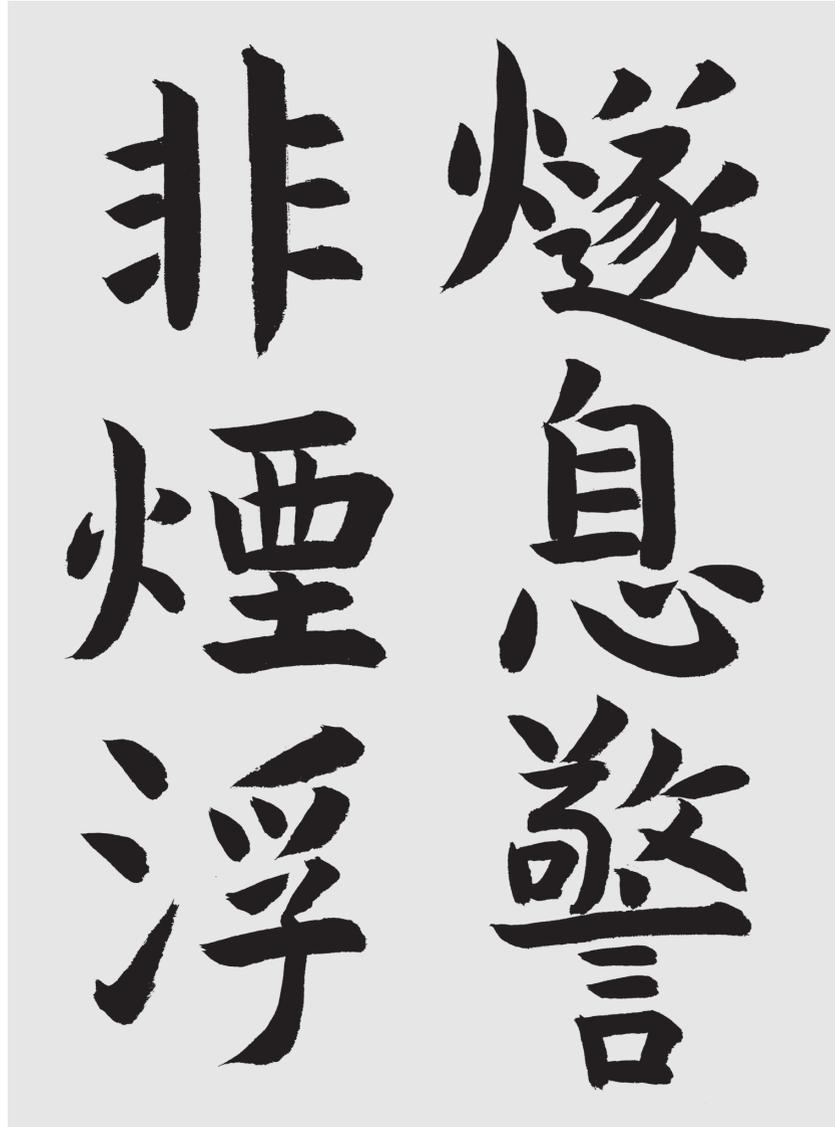
木下順二の戯曲「夕鶴」は、初演以  
来欧州諸国にまで反響を呼んだ。

鹿 児 島 県 霧 島 市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

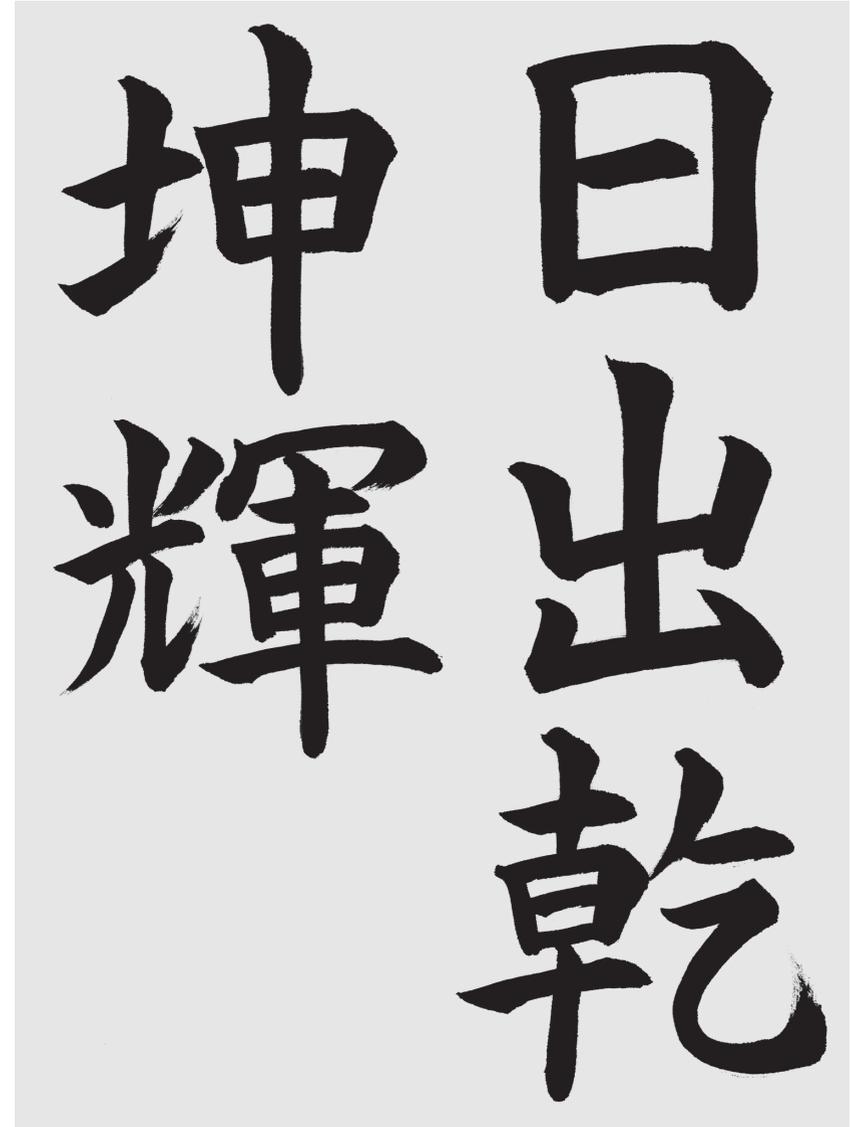
一般部毛筆漢字課題

締切り 1月24日(必着)



準初段から師範まで

奥村暢之臨



新入から1級まで(楷書)

須田一葉書



燧  
息  
警  
非  
煙  
浮

〔出典〕孔子廟堂碑(626~633) 〔筆者〕虞世南(558~638)

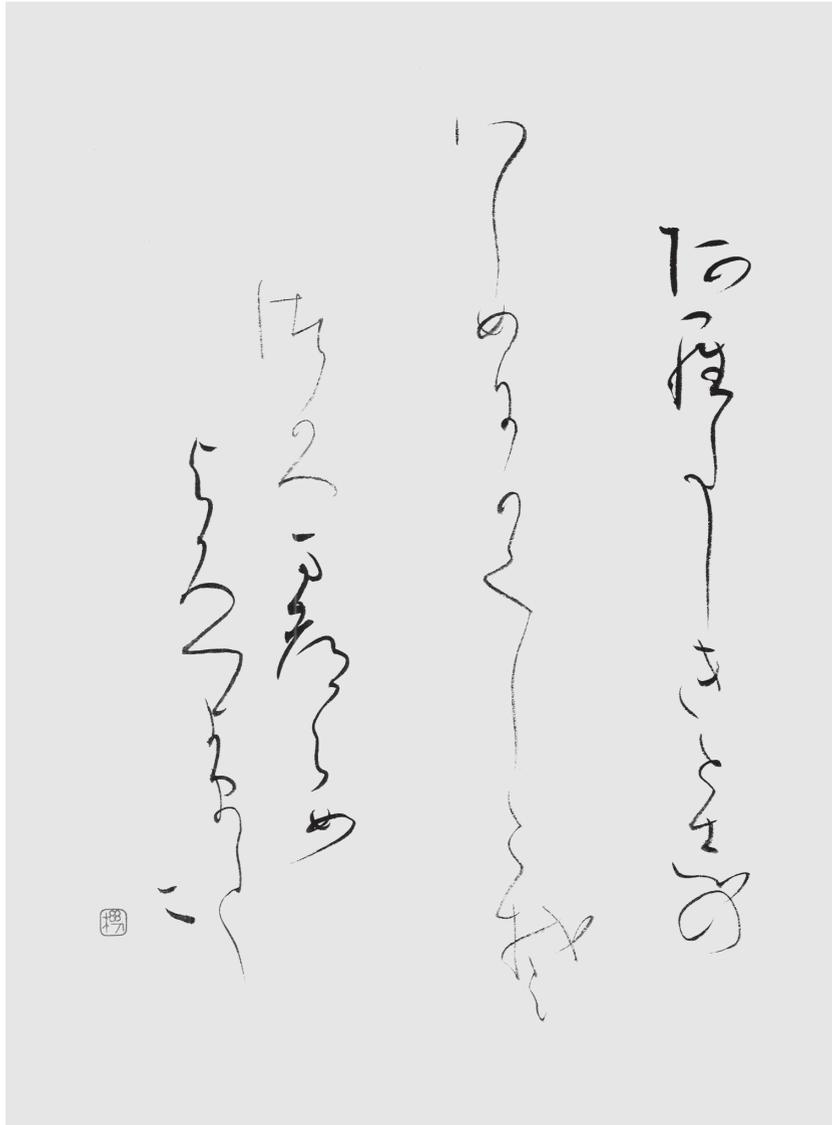
〔読み〕(燧)燧は 警を息み、非煙は(漢に)浮かび、

〔読み〕日出て乾坤輝く ※乾坤(天地のこと)

〔大意〕年が明け初日が昇り、天地万物が輝く。

# 一般部毛筆かな課題

締切り 1月24日(必着)



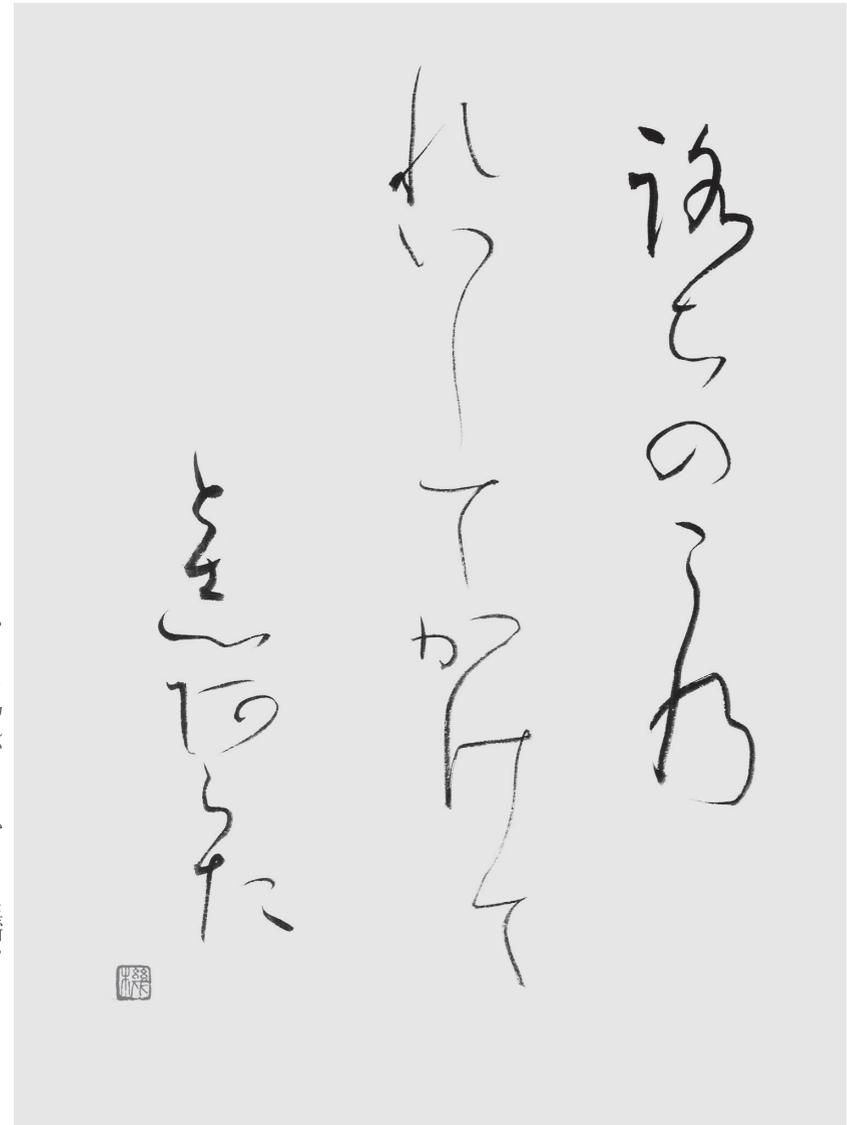
阿羅多 新しき年の始に斯くしこそ  
 徒可 仕へ奉らめ万代までに

〔出典〕 続日本紀の歌

〔歌意〕 新年の年頭にあたって誓うことは、このようにしてお仕え申し上げましょう。万代の先々までも。

準初段から師範まで

■ 両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。



新入から1級まで

浅井機山先生書

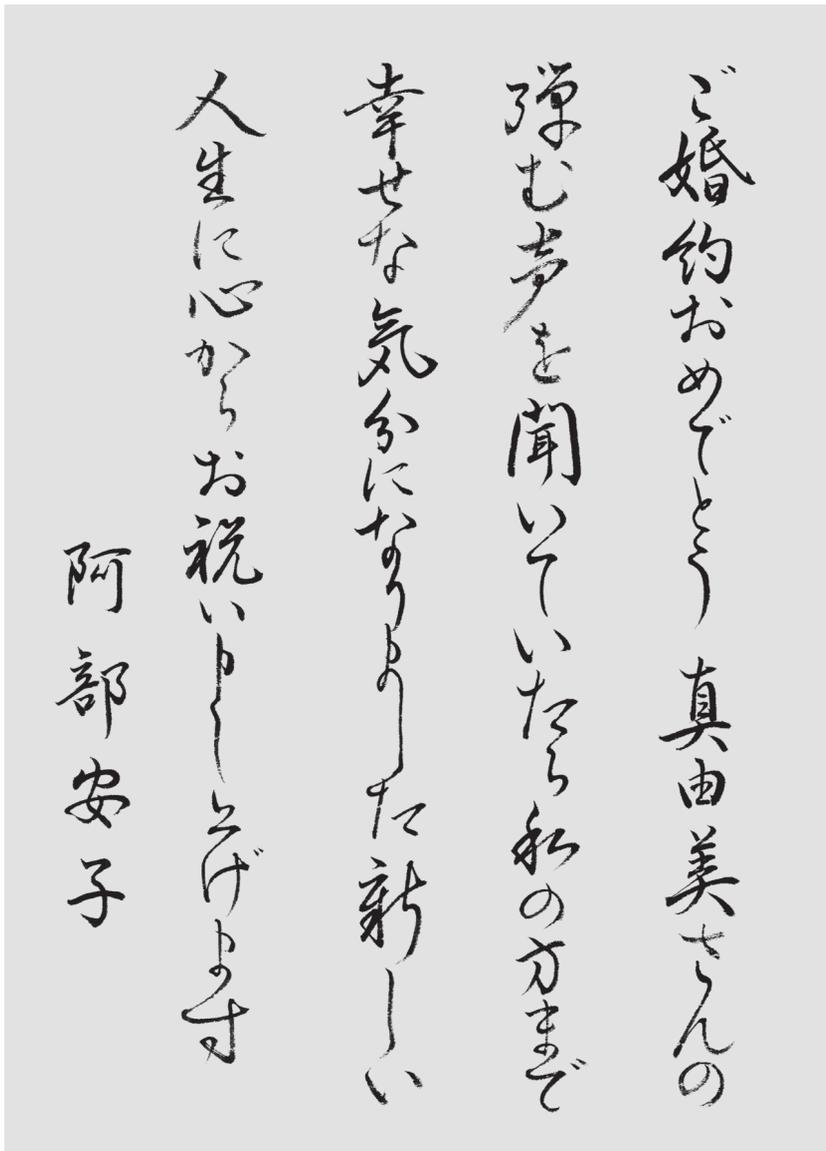
路地の子の礼して駈けて年新た

〔出典〕 菖蒲あや

〔句意〕 子供が新年の挨拶をして、路地を駈けぬけて行く。明るくくったくのない子供の動作に、あたたかな目を注いでいる。下町の正月風景である。

一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334mm × 240mm)

伊藤梅香 書



締切り 一月二十四日(必着) 半切 (一三六cm × 三五cm)

荻田蒼仙書

「大意」物事を儉素にするは君子のなすべき善行。

初出品の方へ  
支部名・会員番号・  
姓名・毛筆漢字成績  
を、作品左下に必ず  
お書き下さい。

「条幅解説」 「…十から一にもどる…千利休」。  
この教えを頂いて原点に立ち戻り、例えば筆の  
持ち方、始筆だけでも多くの方法があり、その  
一つ一つが作品に多様に影響を与える。そんな  
事を学ぶ年にしたい。

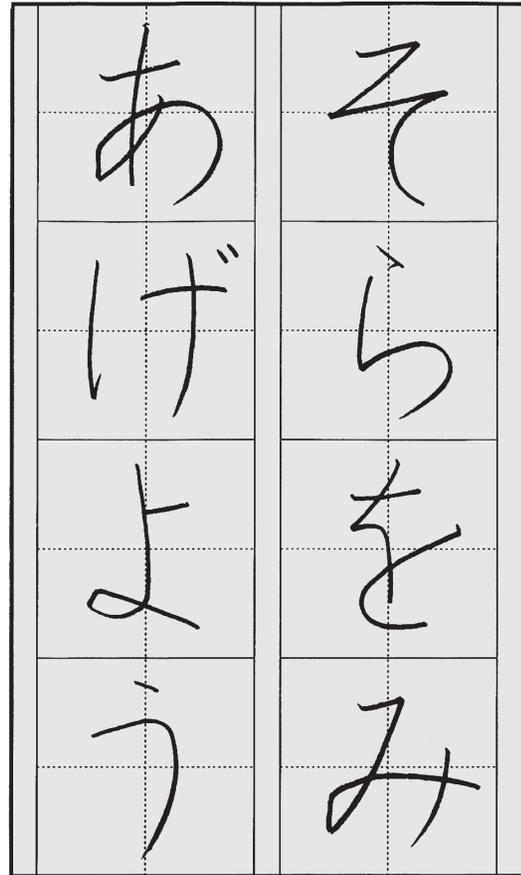
ご婚約おめでとう 真由美さんの  
弾む声を聞いていたら私の方まで  
幸せな気分になりました 新しい  
人生に心からお祝い申し上げます  
(ご自分の氏名)

・印で曇つぎしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

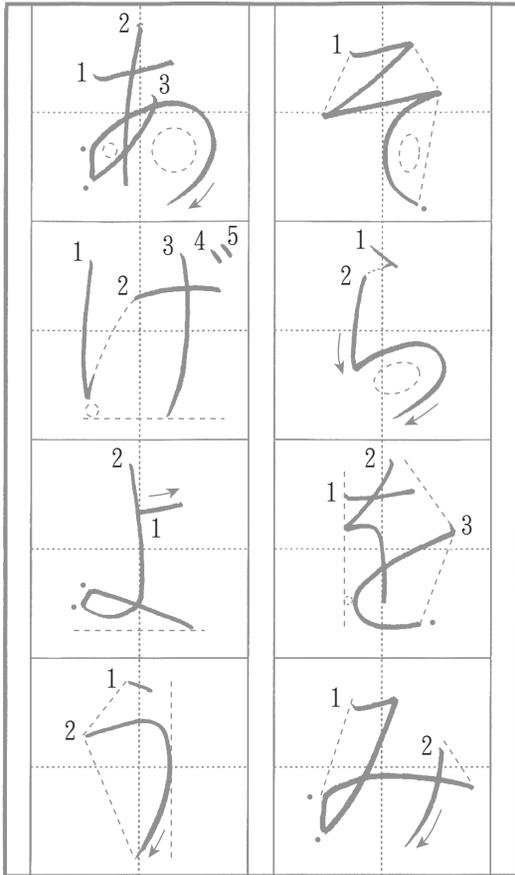
- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

よ  
う  
年



★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。  
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。

◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)



〈ようぐ〉自由(黒色にかきこ)

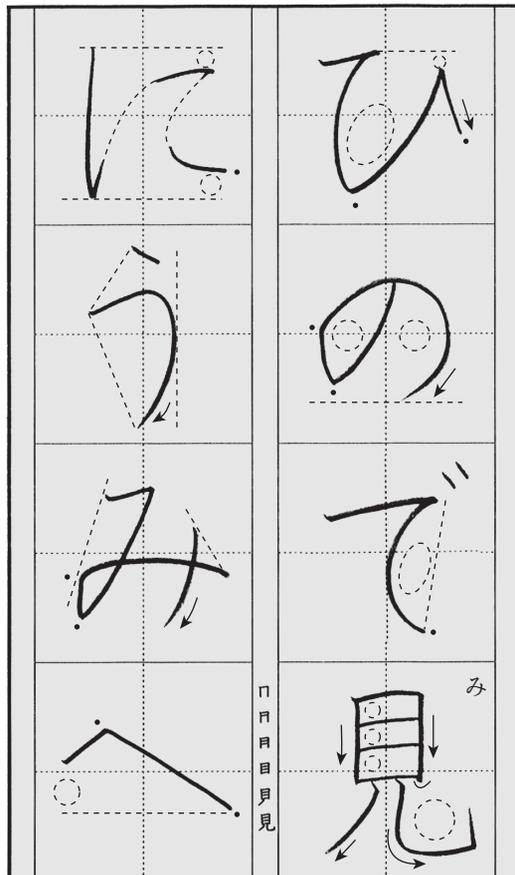
小  
一  
年



(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

準  
初  
段  
以  
上

新入〜1級



幼年〜小三年まで  
三宅容玉書

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

キ 気	あか 明
よ	る
い	く
こ 子	ゲン 元

新入〜1級

の	明	新
よ	る	し
い	く	い
子	元	年
に	気	も

小二年  
準初段以上

ゆき 雪	にわ 庭
げ	イチ 一
し	メン 面
き	の

新入〜1級

の	美	庭
雪	し	に
げ	い	出
し	一	る
き	面	と

小三年  
準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈用具 自由 (黒色に限る)〉

月	七
置	ふ
き	く
物	神

新入1級

物	く	部
を	神	屋
か	の	に
ざ	置	七
る	き	ふ

準初段以上

小四年

準初段以上

小四年以上  
岡嶋桂川書

豊	災
平	害
和	無
年	心

解説 (よく見て習いましょう)

和	心	災
な	豊	害
年	か	の
願	で	無
う	平	い

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

小五年

(全員)

用具自由(黒色に限る)

まな(ぶ)	ひろ(い)
学	広
テン	シ
展	視
ボウ	ヤ
望	野
も(こ)	た(こ)
持	並

解説(よく見て習いましょう)

展	立	広
望	つ	い
を	て	視
持	学	野
つ	び	に

小六年

(全員)

精	初	新
神	志	春
を	貫	の
誓	徹	光
う	の	に

中二・三年

(行書)

堅	を	日
実	見	本
な	据	の
歩	え	未
み	た	来

中一年

(楷書)

▼小三年以下の課題 さか 酒 い けい げつ 書 井 桂 月

書	心	元	太	一
き	を	気	い	月
ぞ	こ	い	筆	二
め	め	っ	で	日
し	て	ぱ		に
た		い		

◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 1月24日 (必着)

習っていない漢字は  
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 はやし 翠 ふう 書 林

家	ぜ	お	お	鏡
族	ん	餅	供	開
で	ざ	を	え	き
食	い	割	し	で
べ	に	り	て	
た	入		あ	
	れ		る	

◎お手本はつけペン使用



◇作品の出し方

- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



小 二 年

小 一 年

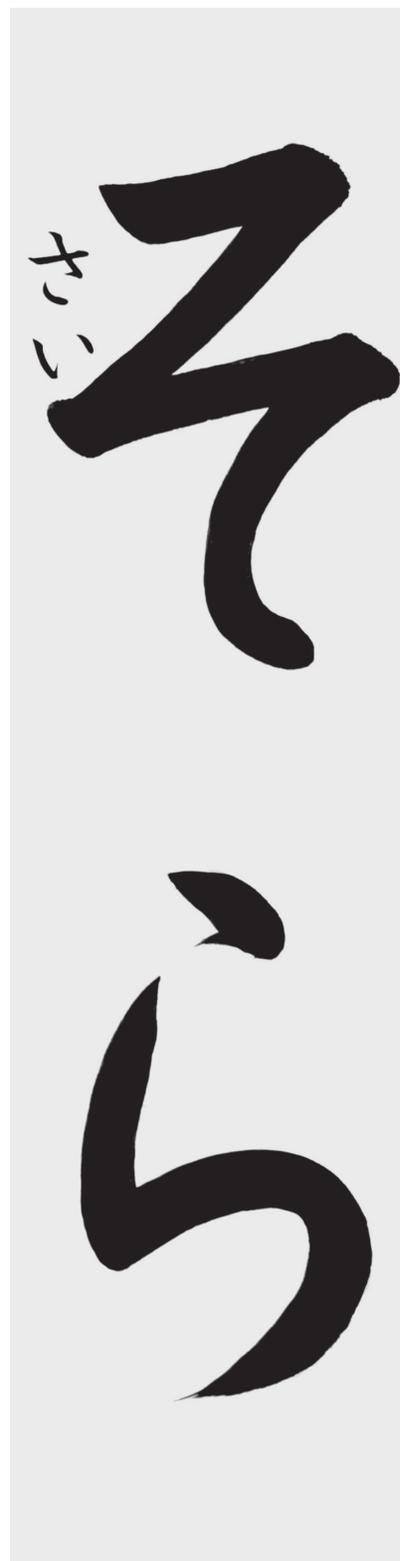
よ う 年



みず の へき ゆう  
水野碧友書



みず の へき ゆう  
水野碧友書



みず の へき ゆう  
水野碧友書

注…コンクール作品は月例競書と兼ねる事ができません。  
両方に出品される方は、二枚お送り下さい。

◆1月締切りの課題は、「全国書道コンクール」に合わせて、半切4分の1  
(68cm × 17.5cm) に書くか、いつものように半紙に書いてもよろしい。

小五年

小四年

小三年



たまきしょうか  
玉樹小華書



たまきしょうか  
玉樹小華書



たまきしょうか  
玉樹小華書

注：コンクール作品は月例競書と兼ねる事ができません。  
両方に出品される方は、二枚お送り下さい。

◆1月締切りの課題は、「全国書道コンクール」に合わせて、半切4分の1  
(68cm × 17.5cm)に書くか、いつものように半紙に書いてもよろしい。

中二・三年

中一年

小六年

中二・三

新春の折言

みずのこうちく 水野香竹書

中一

堅実な歩み

みずのこうちく 水野香竹書

小六

展望王持つ

みずのこうちく 水野香竹書

注…コンクール作品は月例競書と兼ねる事ができません。  
両方に出品される方は、二枚お送り下さい。

◆1月締切りの課題は、「全国書道コンクール」に合わせて、半切4分の1 (68cm × 17.5cm) に書くか、いつものように半紙に書いてもよろしい。